

【英語】 < 中学校 第2学年 >

1 結果のポイント

「理解の能力の【聞くこと】」については、自然な口調で話された英語から、必要な情報や会話の結論などの概要や要点を聞き取る力をみる問題の正答率は90%を上回っており、力が十分身に付いている。他方、問かけから相手の尋ねたい内容を正しく理解して、適切に応答する力をみる問題では、正答率が60%を下回っているものがあり、十分身に付いているとはいえない。

「理解の能力の【読むこと】」については、英文の内容から情報を整理して正しく理解したり、文章全体のあらすじや特に中心になっている事柄などを読み取ったりする力をみる問題はすべて70%を上回っており、ほぼ力が身に付いている。他方、会話の流れや前後関係から相手の意図を正しく理解して、状況に応じて適切な応答を選択したり、会話を完成したりする問題では正答率が60%を下回っているものがあり、力を一層安定させていく必要がある。

「表現の能力の【書くこと】」については、身近な話題についてまとまりのある英文を書く力をみる問題の正答率は高く、着実に力が付いている。他方、自分の考えや情報を正しく相手に伝えるように表現する力をみる問題の正答率は50%程度であり、十分身に付いているとはいえない。

2 結果の分析

(1) 大切な内容を聞き取る力をみる問題の例

< 問題 > **3** (テープ問題)

次の英文や会話を聞いて、質問に答えなさい。答えは、最も適切なものをア～エの中から一つ選び、その記号を解答用紙に書きなさい。英文と会話は2回くり返して言います。

1 彼らは明日公園で何をしますか。

(放送文) A: Tomorrow is Sunday. Let's go to the park. B: Good idea. Do you want to play basketball? A: Sorry, I don't like basketball. Let's play tennis. B: OK.	ア サッカー イ 野球 ウ テニス エ バスケットボール
--	---------------------------------------

< 結果 > **3** の1 正答率 98% (正答...ウ)

< 分析 >

この問題は、ある程度まとまりのある英文を聞き、その話題や内容の要点を理解する力をみるものである。会話の I don't like ~ や Let's play tennis. OK. などから、結論が「テニスをする」ことになったことを聞き取ることができたと考えられる。**3**のすべての問題の正答率が90%を上回っていることから、ある程度まとまりのある英文を聞き、キーワードやキーセンテンスをもとに必要な情報や話題の中心となる事柄や要点を聞き取る指導が継続して行われており、十分な力が付いていると考えられる。

(2) 話の流れを理解する力をみる問題の例

< 問題 > **6**

次の会話が自然な流れになるように、()の中に入れるのに最も適切な英文を下のア～エの中から一つ選び、その符号を解答用紙に書きなさい。

1 Hiroshi: Keiko, I read this book last night. It was very interesting.
Keiko: Oh, was it? ()
Hiroshi: Yes, please take it.

ア Did you read it, too?	イ I didn't read it.
ウ Was it interesting?	エ I want to read it, too.

< 結果 > **6** の1 正答率 47% (正答...エ)

< 分析 >

この問題は、まとまりのある対話文の流れを理解し、前後の関係から適切な表現を選択する力をみるものである。**6**の2の正答率は86%あり、前後にある Hokkaido, cold in January, I don't

like sports.などの具体的な情報をもとに会話の流れを理解し、適切な表現を選択できたと考えられる。他方、**6**の1では正答率は47%であり、Yes という応答に着目することで、形式的につながる質問のA Did you ~?やウ Was it ~?を選択する誤答が多く、Yes, please take it.から「本を読みたい」という恵子 (Keiko)の意向が十分に理解できなかったと考えられる。このことは、「聞くこと」のテープ問題**1**においても、会話の流れから話し手の意向を理解する力をみる問題の正答率が50%程度であり、同様の傾向がみられる。

(3) 内容が相手に正しく伝わるように書く力をみる問題の例

<問題> **9**

友達の健二 (Kenji) を英語で紹介するために、下のメモを作成しました。メモに書かれている二つの内容がそれぞれ表される英文を解答用紙に書き、紹介文を完成させなさい

メモ

関係 : 同じクラスの親友

1 趣味 : ピアノをひくこと 2 経験 : 去年中国 (China) へ行った

Kenji is one of my best friends in my class. 1 _____ 2 _____

<結果> **9** の1 正答率 53% **9** の2 正答率 51%

<分析>

この問題は、伝える内容に適する表現や文を選択し、読み手に伝えたい内容が正しく伝わるように紹介文を書く力をみるものである。**9**の正答率はいずれも50%程度であり、He came to China last week.など、内容が正確に伝えることができない誤答がみられた。また、無解答も他の問題と比べ多く見られた。このことから、提示された内容を正しく相手に伝えるために、適する語、句や文を選択し、適切に表現する力を高めていく指導を充実させていく必要がある。

3 分析を踏まえた指導の改善

(1) 指導計画の工夫改善

- ・3年間を通して、「聞くこと」や「話すこと」などの音声によるコミュニケーション能力の育成を一層重視しつつ、「読むこと」と「書くこと」を継続的に指導する必要がある。特に、「読むこと」の言語活動「エ 伝言や手紙などから書き手の意向を理解し、適切に応じること。」や「書くこと」の言語活動「ウ 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと。」を扱う単元を計画的、発展的に設定し、確実に力が高まる指導計画を完成したい。

(2) 指導方法の工夫改善

- ・【聞くこと】【話すこと】を主体とした音声によるコミュニケーション能力の育成を図る言語活動を一層充実させていくために、情報や考え、気持ちなどを正しく相手に伝える力を付けることを大切にしたい。そのために、正しい言語形式による応答表現の確実な定着を図るとともに、Did you ~? Yes, I did./No, I didn't.という形式的な問答によらない、場面に応じた表現の習熟を図る指導を継続的に行うことが望まれる。その際、TT や少人数指導等により、生徒一人一人の表現の機会を確保し、確実な力の定着を図る指導を大切にしたい。
- ・「理解の能力の【聞くこと】【読むこと】」の言語活動を行う授業においては、ある程度分量のある英文について、情報を整理して理解したり、文章全体のあらすじや特に中心になっている事柄などを読み取ったりする力を付ける指導を今後も大切にしていきたい。また、話し手や書き手の意向を理解する力を付けるために、実際の伝言や手紙などの使用場面を設定し、意思や考えを伝え合い、メモを書いたり返事を書いたりするなどのコミュニケーション活動を設定したい。
- ・「表現の能力の【書くこと】」の言語活動を行う授業においては、伝えたい内容を正しく伝えるために適切な表現を用いて正しく書く力を付ける指導を充実させたい。そのために、「聞くこと」や「話すこと」による言語活動と関連させ、様々なトピックについてまとまりのある英文を書いたり、読み手を想定して大事なことを落とさないように適する語、句や文を選択して表現したりする活動を位置付けたい。

(3) 学習環境の工夫、学習集団の育成等

- ・ある程度分量があり、自然な口調で話されたり読まれたりする英文の概要や要点を理解する力を育成するために、ALTや地域人材等を積極的に活用したい。また、伝えたい内容に適する語、句や文を選択し表現する力を育成するため、教師や生徒が常に英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする雰囲気のある学習集団を実現することが大切である。